

青森県立高等学校教育改革推進計画 第1期実施計画

重点校、拠点校の令和2年度の取組を紹介します!

県教育委員会では、生徒数が減少する中であっても、県全体における高校教育の質の確保・向上を図るため、青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画に基づき、普通科の重点校6校、農業科・工業科・商業科の拠点校6校を各学科の教育活動の中核的な役割を担う高校として配置しています。今回は重点校、拠点校の各校が他校と連携する具体的な取組の一部として、弘前高校と八戸工業高校の取組を紹介します。

重点校 弘前高校の取組: 東京大学の学生によるオンラインセミナー

日程 令和2年12月5日 **場所** 弘前高校
参加 弘前高校、弘前中央高校、弘前南高校の3校から21名



首都圏に比べ、情報不足等の制約を抱える地方の受験生と現役の東京大学の学生とがオンライン会議システムを活用し、交流することを通して効果的な学習方法や受験における心構えなどについて理解を深めることを目的とするものです。

生徒の感想

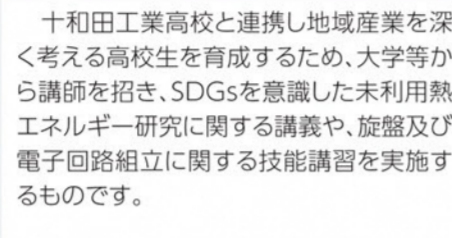
地方には都心の大学を志望する人や卒業生が少なく、情報を集めにくい。自分から大学のHP等で情報を集めるようにしたいと思った。



現役の大学生から体験談等を聞き、地方からでも東京大学に合格するためにできることが沢山あることが分かったので、今後に活かしていきたいと思った。

拠点校 八戸工業高校の取組: 地域から学び還元する工業教育

日程 令和2年8月4日、11月5日 **場所** 八戸工業高校
参加 八戸工業高校、十和田工業高校の2校から95名



十和田工業高校と連携し地域産業を深く考える高校生を育成するため、大学等から講師を招き、SDGsを意識した未利用熱エネルギーに関する講義や、旋盤及び電子回路組立に関する技能講習を実施するものです。

生徒の感想

専門家から研究に関するアドバイスをいただき充実した時間になった。また、十和田工業高校との交流は刺激になった。



身の回りの生活には様々な工業技術が活かされていることを再確認することができた。これからは視野を広げて工業について学んでいきたいと思った。

☎ 高等学校教育改革推進室 TEL.017-734-9866

おしらせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。県教育庁教育政策課情報広報グループ広報担当(TEL.017-734-9868)までご連絡ください。

盛運輸アリーナ(青森県営スケート場)にスポーツライミング施設(ロード・ボルダリング)がオープンしました!!

○営業時間/3月21日(日)まで。毎週月曜日休場。
 【土・日・祝日】10:00~20:00
 【平日】13:00~20:00
 ※4月以降の営業時間は、青森県営スケート場ホームページをご確認ください。
 ○利用方法/
 ・ボルダリングは利用登録が必要。即日登録、即日利用可能。
 ・ロードは、認定講習会で合格した方のみ利用可能。講習会の日程(予定)は、青森県営スケート場ホームページをご確認ください。
 ・室内シューズ等は各自で準備。
 ○料金/個人使用料(一回につき)

	一般	高校生	中学生	小学生・幼児
料金	520円	300円	220円	110円



☎ スポーツ健康課 TEL.017-734-9906
 青森県営スケート場 TEL.017-739-9500
<http://aomori-skate.com/> [青森県営スケート場](#) 🔍 検索

青森県立図書館からのお知らせ

◆おはなし会
 読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子どもたちからリクエストされた絵本を紹介します。
 ○日時/令和3年3月13日(土) 14:00~14:30
 ○場所/青森県立図書館4階集客室

☎ 青森県立図書館 TEL.017-739-4211
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/> [青森県立図書館](#) 🔍 検索

青森県近代文学館からのお知らせ

◆エクステンド常設展示「三浦哲郎 ~師・井伏鱒二の思い出~」
 八戸市に生まれた三浦哲郎は、大学生の時に井伏鱒二に出会います。三浦は井伏を尊敬し、その教えを受けて作品を書きました。「忍ぶ川」で青森県初の芥川賞に輝いた三浦哲郎は、井伏鱒二とのエピソードをどのように語ったのでしょうか? 入場無料です。来館をお待ちしております。
 ○開催期間/開催中~令和3年5月下旬(毎月第4木曜日、奇数月第2水曜日、4月1日は休館)
 ○時間/9:00~17:00
 ○場所/青森県近代文学館企画展示室(青森県立図書館2階)

☎ 青森県近代文学館 TEL.017-739-2575
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/viewer/info.html?id=30> [青森県近代文学館](#) 🔍 検索

三内丸山遺跡センターからのお知らせ

◆企画展「イミテーション・ワールド」
 三内丸山遺跡から出土した、土器などをまねて極端に小さく作ったミニチュア土器、素材を変えて作った同じ形の装飾品などの展示をとおして、縄文人の精神世界を紹介します。
 ○開催期間/開催中~令和3年5月30日(日)
 ○時間/9:00~17:00(GWは~18:00)
 ○場所/三内丸山遺跡センター企画展示室
 ◆大型掘立柱建物(6本柱)改修工事のお知らせ
 三内丸山遺跡では、老朽化した大型掘立柱建物の長寿命化対策工事を実施しています。工事の期間中、大型掘立柱建物(6本柱)は仮設足場に囲われ、見学できません。ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。
 〈見学できない期間〉 令和3年6月下旬まで
 ※上記期間のほか、資材搬入時など、見学が制限される場合があります。
 なお、令和3年春に仮設足場によって工事の様子を見学していただくイベントを企画中です。申込方法などの詳細については、ホームページでお知らせします。

☎ 三内丸山遺跡センター TEL.017-781-6078
<https://sannaimaruyama.pref.aomori.lg.jp/> [三内丸山遺跡センター](#) 🔍 検索

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止・延期又は事業内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2021.2
Vol.60

令和3年2月発行
 編集・発行/青森県教育庁教育政策課
 〒030-8540 青森市長瀬1丁目1番1号
 TEL.017-734-9868

「北海道・北東北の縄文遺跡群」を世界遺産に

北海道・北東北の縄文遺跡群
 —JOMON JAPAN—
<https://jomon-japan.jp>

青森県教育委員会ホームページアドレス → <https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/main.html>

令和元年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞作品 「どうしたの」 親から子への 命づな

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

階上町立道仏中学校
 2年 松村 大輝
 (※受賞当時の学校と学年です)

学校を核とした地域づくりに向けて ~地域学校協働活動の推進~

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、民間企業等の幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。県教育委員会では、今年度から「学校を核とした地域づくり推進事業」を実施し、地域学校協働活動の更なる推進を図っています。

地域学校協働本部構築モデル事業

県内で設置例がない、または事例が少ない形態の地域学校協働本部を設置し、今後設置する市町村のモデルとして、学校と地域との連携・協働を進めながら地域課題の解決に取り組む活動を行います。今年度は、①コミュニティ・スクールの導入と本部を一体的に設置(むつ市・平内町)②公民館に本部を設置(黒石市)③中学校区に本部を設置(鶴田町・風間浦村)の3つの形態で本部設置を目指し、活動に取り組んでいます。

モデル市町村の取組事例

むつ市放課後子どもプラン運営委員会 合同チャレンジ教室

来年度の地域学校協働本部設置へ向けた事業として、市内3つの子ども教室を一堂に集め「合同チャレンジ教室“さわってみよう!ドローンってなんだろう!?”」を令和2年10月31日(土)にむつ市中央公民館で開催しました。

当日は、大湊小学校、関根小学校、脇野沢地域の子ども教室から児童約30名が参加し、ドローンクイズ、自動飛行のプログラミング、マニュアルでの操縦、ドローンを使った釣りゲームなどを行いました。担当の社会教育指導員は、「児童が少ない学校だからこそ、他校の児童や、学校の先生や指導員以外の大人との“ふれあい”を体験させる機会にしたい」と話していました。

参加児童は、普段の子ども教室のメンバーとは違う仲間や大学生、地域の方々からたくさんのお話を学びました。



ドローンクイズの様子



プログラミングする児童



ドローンを使った釣りゲーム

黒石市教育委員会 宿泊体験学習会

令和2年11月21日(土)~22日(日)に宿泊体験学習会を六郷公民館で開催し、地区の5・6年生児童7名が参加しました。

初日は、老人クラブとのゲームや、児童クラブの子どもたちとペンシルパルーンやバッチづくりなどの活動をしました。食事は、六郷婦人会や、食生活改善推進委員会の方々で調理し、参加児童も配膳や皿洗いなどを一緒に行いました。

2日目は、児童が考えたメニューを自分たちで調理し、普段お世話になった方々に振る舞う「会食パーティー」を行いました。

参加児童は、「新型コロナウイルスの影響で、学校で調理実習などができなかったのも、参加できてすごく楽しい」と話していました。

この取組は、今後公民館職員を中心として、児童が地域の様々な方と関わりながら地域学校協働活動を進めていく黒石市の「モデルケース」となりました。



ペンシルパルーンづくりの様子



予算を計算しながらのメニューづくり



食後皿洗いをする児童

地域と学校のコラボレーション研修

教員や地域学校協働活動推進員等が、地域学校協働活動に関する知識と理解を深め、地域と学校をつなぐために必要なコーディネート力や、学校・地域双方に求められる役割について学ぶ研修会で、今年度はこれまで県内4地区で開催しました。

上北地区と三八地区では講師に大槌町教育委員会教育専門官の菅野祐太氏を講師に迎え、「提案します!新しいカタチの地域と学校の連携」をテーマに講義・演習を行いました。

演習では、学校・地域双方の悩みをそれぞれの立場で話し合い、悩みを共有しながら解決策を考え、地域と学校の連携の大切さについて学びました。



三八会場



上北会場

来年度は、地域との連携を担う教職員研修(地域との連携・協働の必要性や地域連携を担う教職員の役割について学ぶ研修)も開催予定です。

☎ 生涯学習課 地域連携推進グループ TEL.017-734-9890

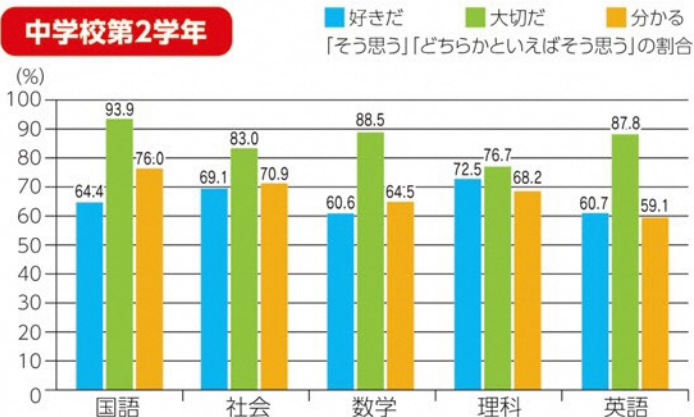
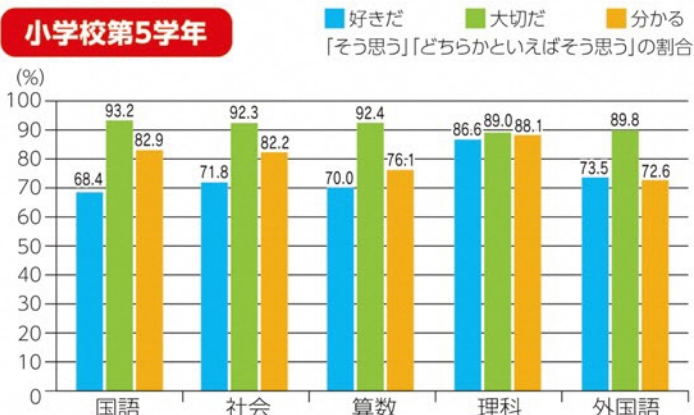
令和2年度「学習状況調査」の結果について

令和2年
8月26日(水)
実施

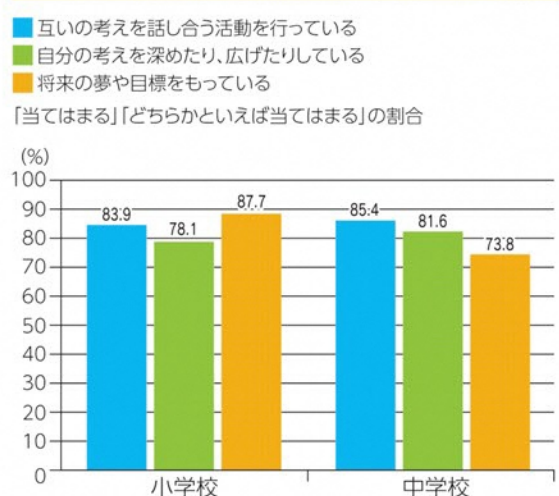
～令和2年度に本県が実施した「学習状況調査」の結果と分析の概要をお知らせします～

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各教科の調査を取りやめ、県内公立小学校第5学年及び中学校第2学年の児童生徒に対して、学習に対する意識や実態の調査のみを実施しました。本調査では、教科の学習に対する児童生徒の意識や理解度、児童生徒の授業に対する受け止めや自己認識、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業期間中の家庭での生活・学習の様子などについて質問しました。

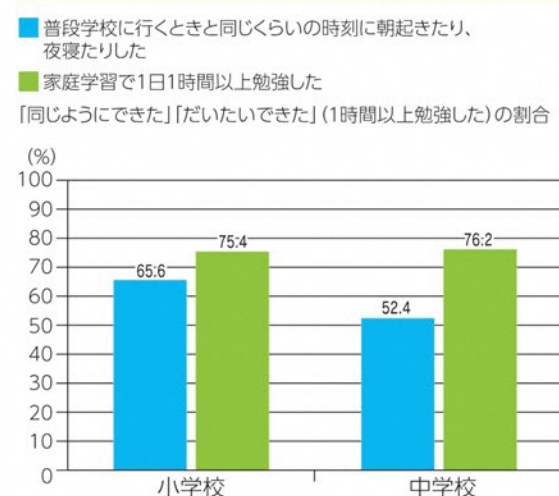
児童生徒の学習に対する意識・理解度について



児童生徒の授業に関する受け止め、将来のことについて



新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業期間中の児童生徒の家庭での生活・学習の様子について



今回の調査結果から、「各教科の学習に対する意識・理解度」や「児童生徒の授業に対する受け止め」、「将来のこと」については、どの質問項目においても、多くの児童生徒が肯定的に回答しており、本県の児童生徒が学習意欲をもって、主体的に取り組めるよう、各学校における授業改善が進められていると受け止めています。また、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業期間中の起床・就寝時刻については、普段学校に行くときとおおむね同じと回答した児童生徒の割合は、小学校では7割、中学校では5割程度となっています。また、家庭学習については、1時間以上勉強したと回答した児童生徒の割合は8割程度となっています。今後、臨時休業があった場合は、各校の実態を踏まえ、生活習慣の乱れが生じないように、工夫した取組が必要です。

「学習状況調査」の結果や「学ぶ意欲を高めるためにご家庭にお願いしたいポイント」については、県教育委員会ホームページをご覧ください。

学びの質を高める授業改善プロジェクト事業

新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指して

県教育委員会では、新学習指導要領の全面実施に向けて、教員の授業力の向上と児童生徒の資質・能力の育成を目的として、「学びの質を高める授業改善プロジェクト事業」を令和元年度から実施しています。今年度の取組について一部を紹介します。

1 「学びの質を高める授業スタンダード“実践編”」の作成

県教育委員会では、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の実現を目指し、授業の手引きとなる「学びの質を高める授業スタンダード」を令和2年3月に発行しました。今年度は、その手引きに基づく授業の実践例を掲載した「学びの質を高める授業スタンダード“実践編”」を作成します。

3 学校図書館の活用を推進

令和2年10月28日に、学校図書館を有効に活用し、学校における子供たちの学びを充実させるための「学校図書館シンポジウム」を開催しました。「豊かな学びを実現するための学校図書館の役割とは」をサブテーマとし、学校図書館活用推進リーダーによる授業実践の成果と課題についての発表をはじめ、県立高等学校の取組の紹介、「リブ*さば(さっぽろ学校司書友の会)」代表 浅村 麻姫子 氏の事例発表、帝京大学教育学部 教授 鎌田 和宏 氏の講演などを行いました。約90名の参加者が、学校図書館活用について理解を深めていました。

2 「学びの質を高める授業スタンダード」に基づく検証授業の実施



今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、公開研究発表会は実施できませんでしたが、県教育委員会が委嘱した12名の授業改善プロジェクト推進リーダーによる「学びの質を高める授業スタンダード」を基にした検証授業を実施しました。実施校の先生方や教育研究会等関係の先生方との少人数の協議でしたが、授業改善に向けた建設的な意見が活発に出されました。

4 学びの質を高める授業改善フォーラムの開催

令和2年11月20日に開催したフォーラムでは、授業改善プロジェクト推進リーダー4名による「学びの質を高める授業スタンダード」を基にした授業の実践発表を行うとともに、本県の学力向上支援委員でもある國學院大学 教授 田村 氏による講演を行いました。密にならないよう複数の会場をリモートでつないでの実施でしたが、参加者は、主体的・対話的で深い学びについての理解を深めていました。

「学びの質を高める授業スタンダード」は県教育委員会ホームページからダウンロードできます。

問 学校教育課 小中学校指導グループ TEL.017-734-9895

「運動遊びチャレンジカード」を作成しました!!

～小学校低学年児童の運動実施時間増加を目指して～



<表面:青森県を歩いてまわろう!>

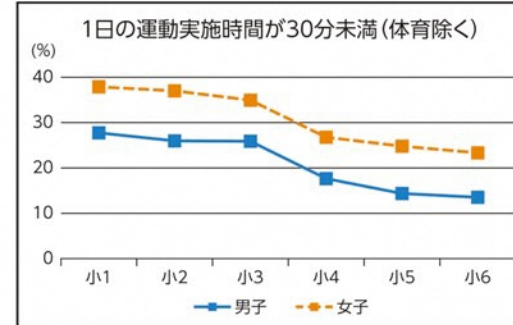


<裏面:運動遊びの例>



運動実施時間を増加 → 運動習慣の定着化へ

◇本県児童生徒の体力及び肥満の状況は、10年前と比べると改善傾向にあるものの、全国平均とは依然として差があります。
◇体力を保持増進するとともに、肥満を予防するためには、運動習慣の定着化を図ることが大切です。しかし、本県の小学校低学年の子どもたちは、体育を除く1日の運動実施時間が30分未満の割合が高く、運動実施時間の増加が課題となっています。



楽しみながらゴールを目指そう!

◇小学校低学年の子どもたちにも、もっと気軽に楽しく、体を動かす遊びや運動に取り組んでほしいという願いを込めて「運動遊びチャレンジカード」を作成しました。
◇カード表面は、40市町村ゆかりのキャラクターに会いながら、青森県を歩いてまわるイメージでデザインしました。

使い方

- ・5分間、体を動かして遊んだり運動したりするごとに、丸1個に色をぬめます。
- ※20分間続けて運動したときは丸を4個ぬめます。
- ・ただし、1日でぬれる丸の数は1日6個までとします。

◇学校の休み時間や休日等に、カード裏面の「運動遊びの例」も参考にしながら、進んで体を動かし、楽しみながらゴールを目指してほしいと考えています。

カードは令和3年1月に県内全小学校の低学年児童に配布しており、県教育委員会のホームページからもダウンロードできます。

問 スポーツ健康課 体育・健康グループ TEL.017-734-9907 https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/unndousobi_challenge_card.html

高校生が縄文遺跡でガイドを体験し、文化財の活用方法を考えました!

～令和2年度高校生縄文案内人養成事業を実施しました～

地域の活性化と、将来的に文化財の保存・活用に取り組むことができる若い世代の人材育成を図るため、令和元年度より北海道・北東北の縄文遺跡群の構成資産である縄文遺跡で活動しているボランティア団体等にご協力いただき、高校生が遺跡でガイドを体験し、その成果を基に文化財の活用方法を提案してもらう「高校生縄文案内人養成事業」を実施しました。※人は青森県にとっての「財(たから)」であることを基本的な考え方としており、「人材」を「人材」と表記しています。

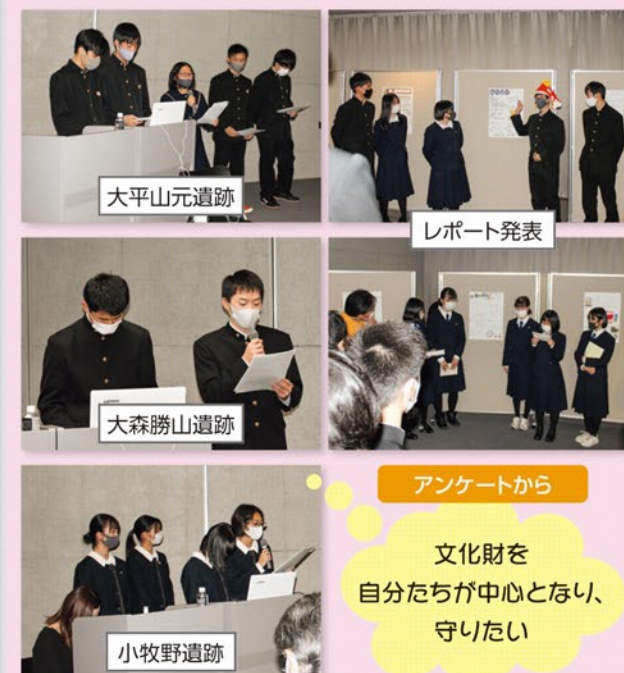
縄文遺跡での案内人体験

文化財について基本的な講座を受講した後、縄文遺跡で自分たちが考えた内容で実際にガイド体験をしました。



学習成果発表会

ガイド体験の成果や文化財の活用方法をスライドやレポートにして発表会を行いました。活発な意見交換も見られました。



高校生が考えた活用案

- マスコットを活用したグッズ開発
- 紙芝居を使った高校生による課外授業
- 縄文ルートのマラソン大会
- 縄文とゲームのコラボ
- 縄文ガチャガチャの作成
- 縄文カフェをつくる
- 大森勝山遺跡をイメージした「大盛カツ山カレー」(弘前実業高校考案)
- 縄文ファッションショーの開催
- 地元バス会社とバスツアーをつくる
- 縄文アイドルをつくる
- 地元特産品を活用した商品開発

問 文化財保護課 TEL.017-734-9920 <https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/koukousei-jomon-annainin.html>